

20

小説

ギンヤンマ、再配置プロジェクト

川端裕人
かわばたひろと

1 要約のポイント 本誌で確認した事柄を整理

○場面(自身を振り返る)

博士が、すべてを解き明かす博士^{ハカセ}にはなれず、総務部で働く自身を振り返る場面。

○状況

すごい博士になりたいと思っていたが、今はあまり夢のない仕事をしている。

○博士の心情

自分のようにになりたいと言う息子の言葉は、正直うれしいが、同時に身が引き締まる思いであつた。

2 段落要旨 空欄部分を書いてみよう

②～① この世のすべてを解き明かしたいと考えていた博士は、いつか本物のすごい博士になりたいと思っていた。「宇宙の始まりと終わり」に興味をもったが、高校生のとき方向転換をした。

④～③ 博士にはならず大学を出、研究職に就いた。遺伝さえ解明できず、子どものころの博士がそれを知ったらなんと思っただろう。やがて異動を願い出たが、A。総務部で頼りにされている実感もあつた。

⑥～⑤ 何か月前、夏樹に将来の夢を尋ねた。そのとき夏樹は迷わず、B、と答えた。

⑧～⑦ あまり夢のない仕事だと言いかけてやめた。とてもうれしかったのである。博士にとって、父は複雑な感情の対象であつた。だから、Cを、そんなふうに見てくれていてうれしい。同時に身が引き締まる思いである。

3 百字要旨 1・2をふまえ、百字以内でまとめよう

95

100

百字要旨

／10